



洞山保存と郷土史を語る会(洞山保存会)

連絡先 〒807-0121 遠賀郡芦屋町船頭町10-10 電話 093-222-0543



活動の目的

- ① 芦屋町のシンボル、洞山は満潮時には海に浮かぶ洞穴のある小島で夕日に照らされる景観は絶景です。しかし、波風によって崩落しつつあるため、整備・保存。
- ② 芦屋町の自然遺産と郷土史および文化遺産の学習および啓発。

活動の内容

- ① 洞山および洞山周辺の種拾い、苗育て、植林活動、枝打ち、草取り等
- ② 洞山を背景にしてスケッチ大会・化石調査・写真撮影大会など
- ③ 安徳天皇（幼帝）の行在所、大君神社の周辺の草取りと清掃活動
- ④ 「仏閣から郷土史が見えてくる」をテーマにして、芦屋町の歴史・文化の遺産が残る神社仏閣で学習会や講演会を開催。

活動のあしあと

平成18年に発足
 会員数 80人
 毎月1回の定例会と定期総会および歴史・文化講演会

今後の方向性（夢）

水あるところ文化が栄える例えの如く、芦屋町は「芦屋千軒、関千軒」といわれ、その昔、繁栄の限りを尽くしました。古代より、中世、近世への変遷の中、幾度となく、歴史の舞台となってきた芦屋。壇之浦の戦いで安徳幼帝を擁して義兵あげた山鹿水軍の総大将「山鹿兵藤次秀遠」は、平家物語にも登場し芦屋町民の誇りです。当会は、自然遺産である洞山の保存活動を通して、郷土の歴史遺産や文化的遺産を継承し、町づくりや町おこしにつなげるよう活動しています。

